



ものづくりの情熱

未来に向けた産業・技術の集積、 その担い手の育成に力を注ぐ。

豊田市の平成30年の製造品出荷額等は、14兆5,903億円※。市内の816※ある工場で働く114,974人※が生み出した成果であり、全国で第1位です。中でも、市内に338※ある自動車関連工場の製造品出荷額等は全体の96.7%※を占めています。こうした実績を未来へ継承し、さらに発展させるために「人づくり」も重視。ものづくりの力と心を育てるプロジェクトやサポート体制を充実させています。※いずれも従業員数4人以上の事業所



トヨタ自動車の本社、6工場などが豊田市内にあります。

● 貞宝工場

操業開始：昭和61年2月
生産品目：機械設備等
敷地面積：29万㎡

● 元町工場

操業開始：昭和34年8月
生産品目：乗用車
敷地面積：159万㎡

● 本社工場

操業開始：昭和13年11月
生産品目：鍛造部品
敷地面積：55万㎡

● 高岡工場

操業開始：昭和41年9月
生産品目：乗用車
敷地面積：131万㎡

● 堤工場

操業開始：昭和45年12月
生産品目：乗用車
敷地面積：94万㎡

● 上郷工場

操業開始：昭和40年11月
生産品目：エンジン
敷地面積：87万㎡



を育むまち・とよた。

ものづくりDNAを、
次の時代へつなげるために。

ものづくりミライ塾



平成27年9月、豊田市は「ものづくりミライ塾」を開講しました。この事業は、豊田市名誉市民で元トヨタ自動車最高顧問である豊田英二氏のご遺族からの寄付金を活用し、市内中小企業等の若者を主な対象者とする人材育成事業です。多様な分野の若手技術者が集まってプロジェクトチームを組み、「ものづくり創造拠点 SENTAN」の工作機械などの設備を活用しながら、製品開発の一連の流れを経験することで、発想力や企画力、技術力などを養成し、ものづくり企業の中核を担う人材を育成します。

これまでのものづくりミライ塾では、「家庭用水素発生充填機」や「快適に走行できる電動カート」、「おむつ脱水処理」、「災害時の生活用水確保」などをテーマに、実験や試作を繰り返しながら開発に挑戦してきました。令和元年9月には新たに第5期生も加わり、同年12月現在で、中小企業等の若者45人が塾生として活動中です。“社会に役立つ”、“今までにない”という大きなテーマを掲げ、チャレンジを重ねていく彼らに、次代を拓くイノベーション創出の期待が高まっています。

「デジタル×ものづくり」カレッジ



このプログラムは、地域の製造事業者のリーダー技術者や次世代の想像力豊かな技術者を養成するために、「とよたイノベーションセンター」（豊田商工会議所、豊田高専、豊田市の産学官連携により設置）が実施しています。

学生の柔軟な発想と企業の技術者の製造現場での経験に基づく実践的な考えを組み合わせることで生まれる相乗効果が期待できます。

「デジタル技術を活用して製造工程をカイゼンするリーダー技術者」を産学官で養成

情報化社会の現代において必要不可欠なデジタル技術を、ものづくりの視点で基礎から学び、自社の業務を俯瞰的に捉える技術力を養います。製造現場の全工程を見通し、実際の設備・機器へのデジタルツール活用を企画・構想・開発することで、デジタル技術を応用できる次世代のものづくり人材を育成します。



クルマづくり究めるプロジェクト



STEP1 基礎コース
クルマづくりの基礎技能を体験



STEP2 究めるコース
各専門分野で構造や技能を追究



STEP3 レストアコース
クルマの修復の全工程を行う



STEP4 きんどうんコース
「こんなクルマに乗ってみたい」をカタチにする

小学5年生以上を対象とした「クルマづくりの技」に触れる体験学習。自動車関連企業で働く達人との交流を通し、次代を担う子どもの「ものをつくる心」を育み、「夢を描き、実現する力」を伸ばします。

クルマに特化したものづくりを学び、追究し、挑戦できるよう、段階を踏んだプログラム

The city spends efforts educating future manufacturers to take on the future

Toyota City, where various kinds of manufacturers are concentrated, is a core manufacturing city where active manufacturing takes place. The shipment value of the city's production in 2018 was 14,590,300,000,000 yen.* The 114,974 workers* at the 816 factories* in the city realized this result, positioning the city at the No. 1 rank in the country. The production of the 338 automobile-related factories* account for 96.7%* of the shipment value.

In order to pass on this manufacturing DNA as a challenger for the future, the city places great importance on the creation of manufacturers, especially in the automobile industry. Examples include the establishment of Monozukuri Mirai School, where young technicians develop their creativity and techniques through product development, the “Digital Monozukuri College”, a collaborative program of industry, academia, and government that trains technical leaders, and the Car-making Expert Project, an active learning opportunity for children. Toyota City raises the abilities and passions of the future creators of “the future ideal normal city,” which is unimaginable to anyone.

*Offices with more than four employees

